

猫と女性 ～比較文学的に考える

講師：堀江 珠喜（大阪府立大学教授）

空前の猫ブームです。世界中の猫を追いかけてだけのTV番組が始終放送され、各地で猫（グッズ）展、猫カフェ。ついにはペット数でも犬を越えたとか。

けれども文学の世界では、『長靴を履いた猫』や『吾輩は猫である』など、昔から「猫」は活躍していました。アニメの世界でも同様です。

また、谷崎潤一郎や三島由紀夫などの作家も、猫が大好き。美しく、ともすれば「悪」を感じさせるような奔放さや「自我」が感じられるためでしょうか。

さらに「猫」は「女性」のイメージと重ねて描かれることがあります。猫的な女性、あるいは美女を連想させる猫などです。

そこで今回は、最近の猫人気にあやかり、物語に登場する「猫」について比較文学的に考えたいと思います。

なお私事ですが、来年度末（1年数ヵ月後）で定年を迎えますので、これを当センターでの私の最後の講演にさせていただきたく、これまでの皆様方のご支援に感謝申し上げます。

日時

2018年 12月 8日（土）

14:00～16:00（13:30 開場）

定員

50名（先着順）

参加費

500円（大阪府立大学 学生・教職員は無料）

申込方法

①氏名（ふりがな）、②住所、③電話番号を記して、EメールまたはFAXで下記までお申込みください。

大阪府立大学 女性学研究センター

Eメール：joseigaku@gmail.com

FAX：072-254-9947

*定員に余裕がある場合は、当日もご参加いただけますが、資料準備の都合上、できるだけ事前のお申込みをお願いいたします。

*お申込みの際の個人情報は、本講座の事務連絡、統計資料等の作成および本学公開講座等の案内以外に、一切使用いたしません。

【問合せ先】

大阪府立大学 女性学研究センター

TEL：072-254-9948

（土日・祝日を除く、14:00～17:00）

会場

大阪府立大学 I-site なんば 2階

（大阪市浪速区敷津東2丁目1番41号）

- 南海電鉄なんば駅 なんばパークス方面出口より約800m（徒歩約12分）
- 地下鉄なんば駅（御堂筋線）5号出口より約1000m（徒歩約15分）
- 地下鉄大国町駅（御堂筋線・四つ橋線）1号出口より約450m（徒歩約7分）
- 地下鉄恵美須町駅（堺筋線）1-B出口より約450m（徒歩約7分）

